

平成31年度 基山町立基山小学校 学校評価計画

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
学び確かに 心豊かに 体たくましく	①学力の向上 ②心の教育の充実 ③健康安全指導の徹底

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

①確かな学力を身につけた子

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力の向上	基礎学力の定着	・国語・算数の学習状況調査の正答率が県平均を上回るようにする。 ・家庭学習の徹底、継続を図り、全ての児童が宿題忘れゼロになることを目指す。	・学習状況調査の結果から、児童に身に付けさせるべき力を分析し、その力の育成を図るために、全職員で「授業づくりのステップ1・2・3」を参考にして指導改善を行う。 ・「学びの手引き」を活用し、家庭学習の充実を学習習慣づくり部を中心に推進する。
教育活動	○読書活動の推進	読書の習慣化と多読の推奨	・学校図書館の年間貸し出し冊数を、一人平均100冊以上にする。	・ファミリー読書(親子読書運動)を推進・啓発し、読書の習慣化に取り組む。 ・図書館祭りを実施したり、多読賞を設けたりして、図書館利用について児童の関心を高める。 ・図書の貸し出しを常に2冊までできるようにし、多読を推奨する。

②豊かな心をもつ子

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	道徳の授業の充実	・互いのよさを認め、共に高め合う道徳の授業実践や学級経営を通して、児童の自己肯定感を高める。	・全ての学級が、土曜授業等を活用して、「ふれあい道徳」を実施する。 ・一人ひとりがよさを発揮し、互いのよさを認め合える授業や学級経営を行う。 ・自校のSTによる道徳授業に関する研修会や出前授業等を行う。 ・校内研究の一環として、魅力のある道徳の授業作りに取り組む。
教育活動	●いじめ問題への対応	予防的・開発的生徒指導の推進	・いじめの未然防止のためのアンケート等を実施するとともに教育相談活動を充実させる。 ・佐賀県SC、SSWの活用を推進する。	・i-checkを年に2回、いじめに関するアンケートを学期に1回実施することで、児童の実態を把握し、結果の分析を基に、学年、学級経営に生かす。 ・SC、SSWの活用、保護者、地域、専門機関との連携強化を図り、生徒指導や教育相談体制の整備を行う。 ・個別の問題については、早期に組織的に取り組む。
教育活動	○基本的な生活習慣の定着	あいさつ、返事、廊下歩行、スリッパ並べの定着	・「す・み・そ・あ・じ」を合言葉にして、あいさつ、返事、正しい廊下歩行、はきものをそろえる、ができる児童を80%以上にする。	・毎月の「生活目標」を「す・み・そ・あ・じ」に焦点化し、毎学期繰り返して取り組むことで指導の徹底を図る。 ・「基山っ子」(学校だより)や全校集会等で児童の頑張りを肯定的に評価し、あいさつ、時間の意識、はきものそろえを定着させる。
教育活動	○特別支援教育	特別支援教育の充実	・職員の共通理解と協力体制の確立を図る。 ・支援が必要な児童の実態を把握し、個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、随時更新して、指導に生かす。	・教職員を対象とした特別支援教育に係る研修会や保護者を対象としたふれあい学級や学びの教室の運営に係る説明会を実施する。 ・関係機関との連携を図り、保護者・児童の教育的ニーズや願いを把握し、教育的な観点から適切に対応する。 ・特別支援学級担任と支援員とのミーティングや情報交換(特別支援日誌等の活用)を継続的に実施し、ふれあい学級児童一人ひとりの共通理解を図りながら適切な指導を行い、教育環境の整備を図る。
教育活動	●志を高める教育	郷土についての学びや体験活動の充実	・社会科や総合的な学習の時間等、郷土を愛する児童の育成を目指した、カリキュラム・マネジメントを行う。	・「ふるさと基山の歴史」や「佐賀語り」「佐賀巡り」等を活用した授業に取り組む。 ・地域の教育資源や人材等を活用した体験活動や表現活動を実施する。 ・小中の系統性を持たせた「基山学」を実践する。
学校運営	○人権・同和教育の推進	人権教育の推進	・基山町内の小・中学校で連携して、9年間を見通した系統的・継続的な人権教育に取り組む。	・人権教育の視点を位置づけた生活づくり、学びづくり、仲間づくりの研究に取り組む。 ・人権教育の推進を図るために人権標語の取り組みや人権集会を実施する。

③心身ともにたくましい子

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	運動習慣の改善や定着化	・保護者と連携協力して児童の外遊びを奨励し、体力の向上を図る。 ・食育担当職員と学級担任が連携した食育指導を展開し、残菜率を5%以下にする。	・体育委員や保健委員の活動を通して、運動を奨励し、運動習慣の改善や定着化を図る。 ・食育担当職員と学級担任が連携して食育に計画的に取り組む、残菜量を減らす。 ・食育だより等の発行や給食試食会を実施し、食育の大切を保護者に啓発する。
教育活動	○安全教育の充実	不審者・火事及び地震等の避難、交通事故等に係る安全指導の徹底	・安全指導を徹底し、交通事故および生活事故等起きないようにする。	・関係機関と連絡を密にした避難訓練や交通教室の実施及び児童の実態に応じた安全指導を徹底する。 ・安全部会の組織を中心に様々な課題に対して報告・連絡・相談を確実にし、慎重かつ迅速な対応に努める。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革	業務効率化の推進	・会議や事務の効率化を図り、教職員が児童と向き合ったり、教材研究をしたりする時間を確保する。	・会議や連絡会は、資料をデータ化し、事前に確認できるようにしておき、会議や連絡会の時間の削減を行う。 ・共有フォルダにデータを保存し、共有化を図り、効率的に業務を遂行する。

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目